

山岳遭難発生状況 (令和8年2月末現在)

10件10人(±0件±0人)・死傷者9人 (死亡4人、負傷者5人)



緊急事態・死亡事故多発



令和8年2月末現在で、山岳遭難の死亡事故が4件(前年同期比+4人)発生しています。
なお、令和7年中の死亡事故も4件であり、増加が顕著となっています。

【状況】

- ① 1月4日(日) 虚空蔵山
80代男性が単独でハイキング中、登山道外の斜面で滑落し、死亡
- ② 1月18日(日) 小鹿野二子山
30代男性が単独で登山中、登山道から滑落し、死亡
- ③ 1月27日(火) 倉明山
50代男性が単独で登山中、登山道外の斜面で滑落し、死亡
- ④ 2月23日 四阿屋山
70代女性が単独で登山中、登山道外の斜面で滑落し、死亡



【傾向】

死亡原因は、全て滑落によるものですが、、
死亡事故の4件中3件は、登山道外の斜面で滑落した事故となります。
遭難現場の状況から、道迷いの末に滑落した可能性が高い事故もあり、道に迷っていなければ、防げた(滑落しなかった)事故とも考えられます。

【対策】

道迷いは、防げる遭難です。
登山計画(届)を立てる際に、道迷いしやすい分岐や地形を事前に確認しておきましょう。
また、登山中は、こまめに登山地図やアプリを活用し、現在地と進行方向を確認しましょう。

↓ 登山届はコチラから ↓



遭難事例紹介

～登山アプリの活用で早期発見～

【発生日】 令和8年1月27日
【発生場所】 倉明山(滝/沢)山城
【遭難者】 50歳代男性
【態様】 滑落(死亡)

【教訓】

未整備のバリエーションルートに登山する時は、ネット情報だけを鵜呑みにせず、自身の力量に見合った山を選定しましょう。

【事案概要】

令和8年1月28日、遭難者の家族から、「秩父の倉明山に登山に行った家族が帰ってこない。」旨の通報があり、各種照会を実施したところ、遭難者が登山アプリのヤマレコを起動させて登山していることが判明した。

照会により、遭難者のヤマレコの軌跡データを入手し、最終更新位置が特定されたことから、同所付近山林を山岳救助隊員が搜索したところ、急斜面(斜度約40度)において、社会死状態の遭難者を発見したものの。

山岳救助隊員が入山してから、遭難者を発見するまでに要した時間は僅か数分であった。

アプリの情報が無ければ、搜索の長期化した可能性も…



まだまだ、冬装備は万全に！

下の写真は、昨年4月の同じ日に両神山の登山口付近と山頂付近を撮影したものです。登山口で雪や凍結がなくても、標高の高い位置では、冬装備が必要になることがあります。登山の際は、冬装備を万全するとともに、行動が困難な場合は、下山を心掛けましょう。



登山口付近

登山口に雪がなくても、登ってみると、足首が埋まる積雪が、冬の寒さは、和らいでいますが、登山の際は、冬装備を忘れずに！



山頂付近